

所管事務の調査（報告）

- ・神奈川県内の「これからの時代に相応しい水道システムの構築に向けた検討会」の設置について

上 下 水 道 局

神奈川県内の「これからの時代に相応しい水道システムの構築に向けた検討会」の設置について

本県においても人口減少社会の到来は目前であり、水需要の減少に拍車がかかる中で、これまで整備した水道施設の大規模更新が迫るなど、それぞれの水道事業者が個別に対応することには限界があり、近隣の事業者との連携強化が不可欠であります。

神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市の水道事業者、並びに神奈川県内広域水道企業団（以下「5事業者」という。）は、社会情勢や事業環境の変化等を踏まえ、「水道施設の共通化・広域化」に一体となって取組み、これからの時代に相応しい水道システムを構築していくための検討を多角的な視点で行うため、水道事業や河川行政に精通した有識者を交えた検討会を設置しました。

1 検討会の名称

これからの時代に相応しい水道システムの構築に向けた検討会

2 設置期間

令和元年11月11日から令和3年3月末日まで

3 検討事項

- (1)平成22年の「神奈川県内水道事業検討委員会報告」で示された「水道施設の共通化・広域化」の検証及びこれからの時代に相応しい水道システムの構築の方向性
- (2)これからの時代に相応しい水道システムの構築に向けた課題整理とその解決策

4 構成員

(1) 構成

- ・神奈川県、横浜市、川崎市及び横須賀市の水道事業管理者並びに神奈川県内広域水道企業団の企業長 5名
- ・5事業者の各水道技術管理者 5名
- ・水道事業又は河川行政に関する有識者 4名

氏名	職名
竹村 公太郎	特定非営利活動法人 日本水フォーラム 代表理事
関 克己	公益財団法人 河川財団 理事長
川崎 正彦	一般財団法人 ダム技術センター 理事長
長岡 裕	東京都市大学 工学部 教授

5 第1回検討会

(1)開催日：令和元年11月12日（火）

(2)議題

- ・「これからの時代に相応しい水道システムの構築に向けた検討会」の運営等について